

現代俳句くまもと 第16号

総会に代わる緊急措置

前年度総会は、熊本市緊急事態宣言を受けて、役員会及び会報第15号をもって、総会に代わる緊急措置を実施しました。会計報告は、別添のとおりです。ご覧下さい。

なお、新年度役員は、次のとおりです。

会 長	加藤 知子
副会長・事務局長・会計幹事	西田 和平
幹 事	吉良 香織
顧 問	丘 菜月
会計監査	真弓ぼたん

紙上句会の開催報告

総会後の句会に代わり、紙上句会を開催しました。会報第15号にて、2月末日までに、5句を募り、15名の参加を得ました。

事務局は、参加者に、投句集及び選評用紙を郵送し、特選1句、並選8句、逆選1句の選をしていただき、それぞれにコメントをお願いしました。

参加者には、誠意を持って取り組んでいただき、締切日までに選評を送っていただきました。

その後、事務局が、選評結果を作成し、3月18日、参加者に郵送しました。

選の全部につき、コメントしてもらったこともあり、とても面白い句会になったように思います。

今年度も紙上句会を実施予定です（締切は7月末日。投句先は吉良香織）。詳しくは7月上旬にハガキでご案内しますので、多数の参加をお願いします。

私の一句 自句自解

花は葉に花は優しき樹となりぬ

青島 玄武

熊本市壺井橋そばの城東小学校裏の桜並木を詠んだ一句です。並木は日当たりのいい場所にあり、三月末には一斉には花を咲かせたかと思うと、坪井川の川風に一気に花を散らせ、あっという間に葉桜になってしまいます。

そういえば、桜には春の訪れを喜ぶ気持ちよりも、卒業式などの離別の思いを想起させる悲しみのイメージのほうが強いのと思います。

桜が人を悲しませない優しい樹になるのは、むしろ葉桜になってからだと思って作りました。ところが、先日、石田郷子の句に

ことごとくやさしくなりて枯れにけり

というのがあったのを知ってびっくりしています。

わたくしはまだ、万物が枯れ果てた様子を「優しい」とは受け取れない境涯なのだと思います。

第20回全国俳句大会 in 北九州

2021年3月

〈宇多喜代子選入選〉

紫陽花の深みに入れる鉄かな

林 よしこ

『現代俳句』列島春秋 掲載句 2021年

一月 寒林に火の国風土記の瘤がある 星永文夫

*星永さんは、横浜に転居されました。

二月 臥龍梅とんで異郷の鬼となる 木庭杏子

三月 野焼きして阿蘇に集まるあまのじやく

田上公代

四月 若き日は知らんぷりした桜の国 加藤知子
五月 二天忌や背後から来る己の声 柴田しのぶ

お知らせ

○ 現代俳句協会の年会費

未納の方は、お振込みをお願いします。

○ 準会員の方は、年会費千円をお願いします。

○ 現代俳句年鑑の参加者募集中。5句掲載。

参加料3000円。締切り5月31日。

○ 第58回 現代俳句全国大会

令和3年 10月30日の予定

投句用紙は、6月と7月の『現代俳句』の巻末に挿入されます。お知り合いの方々には、同封の「第58回現代俳句全国大会作品募集」で投句をお薦めください。

○ 紀の国わかやま文化祭2021 「俳句の祭典」

投句用紙も同封しました。

当協会 創立30周年記念 合同句集の

一句 評募集

好きな句とか共鳴句とかあれば、一句評(100字以内)を、事務局まで送付ください(メール可)。次号の会報に掲載したいと考えています。

○ 不明な点は事務局までお問合せください。

熊本県現代俳句協会 会報 第16号

2021(令和3)年 5月7日 発行

発行人 会 長 加藤 知子

編集人 事務局 長 西田 和平

熊本市北区龍田陳内三丁目19番27号

電話 …096・337・2062